

今後の検討の進め方及びモデル地区について

1 今後の検討の進め方の基本的な考え方

- (1) 国土交通省が策定（平成23年11月11日公表）した「河川・海岸構造物の復旧における景観配慮の手引き」を基本とし、検討を進めていく。
- (2) 岩手県津波防災技術専門委員会のまちづくり等に係る審議状況、沿岸市町村が策定するまちづくりに関する計画の策定状況等を注視しながら検討を進めていく。
- (3) このほか、国等から基本となる考え方等が示された場合には、その内容に沿って検討を進めていく。

- ★当委員会の所掌事項
- ・ 計画から施工における自然環境との共生及び自然環境等への影響の低減に係る配慮等の検討に関すること。
  - ・ 地域の特性を生かした良好な景観形成の保全・創出に係る配慮等の検討に関すること。
  - ・ その他目的の達成にあたって必要な事項に関すること。

2 モデル地区の設定について

(1) 問題（現状）

沿岸部において、多くの河川・海岸構造物が被災しており、復旧等にあたって、全ての地区の環境・景観に係る配慮事項等を個別に整理することは極めて困難な状況となっている。

(2) 課題

一刻も早く、被災した河川・海岸構造物の計画の策定に着手するため、環境・景観に係る配慮事項等を、効率的かつ効果的に整理する必要がある。

現在、災害査定を行っている河川・海岸施設の計画の策定に反映させるためには、概ね今年度末までに配慮事項等を整理する必要がある。

(3) 対策

限られた時間の中で検討を進め成果を得るため、他の地区にも応用できるような汎用性の高いモデル地区を設定したうえで検討を進めていくこととする。

モデル地区の設定にあたっては、海岸の地形、背後地の土地利用状況、河口部の有無、想定される構造物の種別のほか、観光地周辺であることなどの利用の観点から設定する。

モデル地区は、次の4地区を想定している。

- ① 砂浜海岸 ⇒ 高田海岸、気仙川（陸前高田市）
- ② 港湾海岸 ⇒ 大船渡港、盛川（大船渡市）
- ③ 複数河川河口部 ⇒ 大槌川、小槌川（大槌町）
- ④ 観光地周辺 ⇒ 鍬ヶ崎、閉伊川（宮古市）

※位置図は裏面

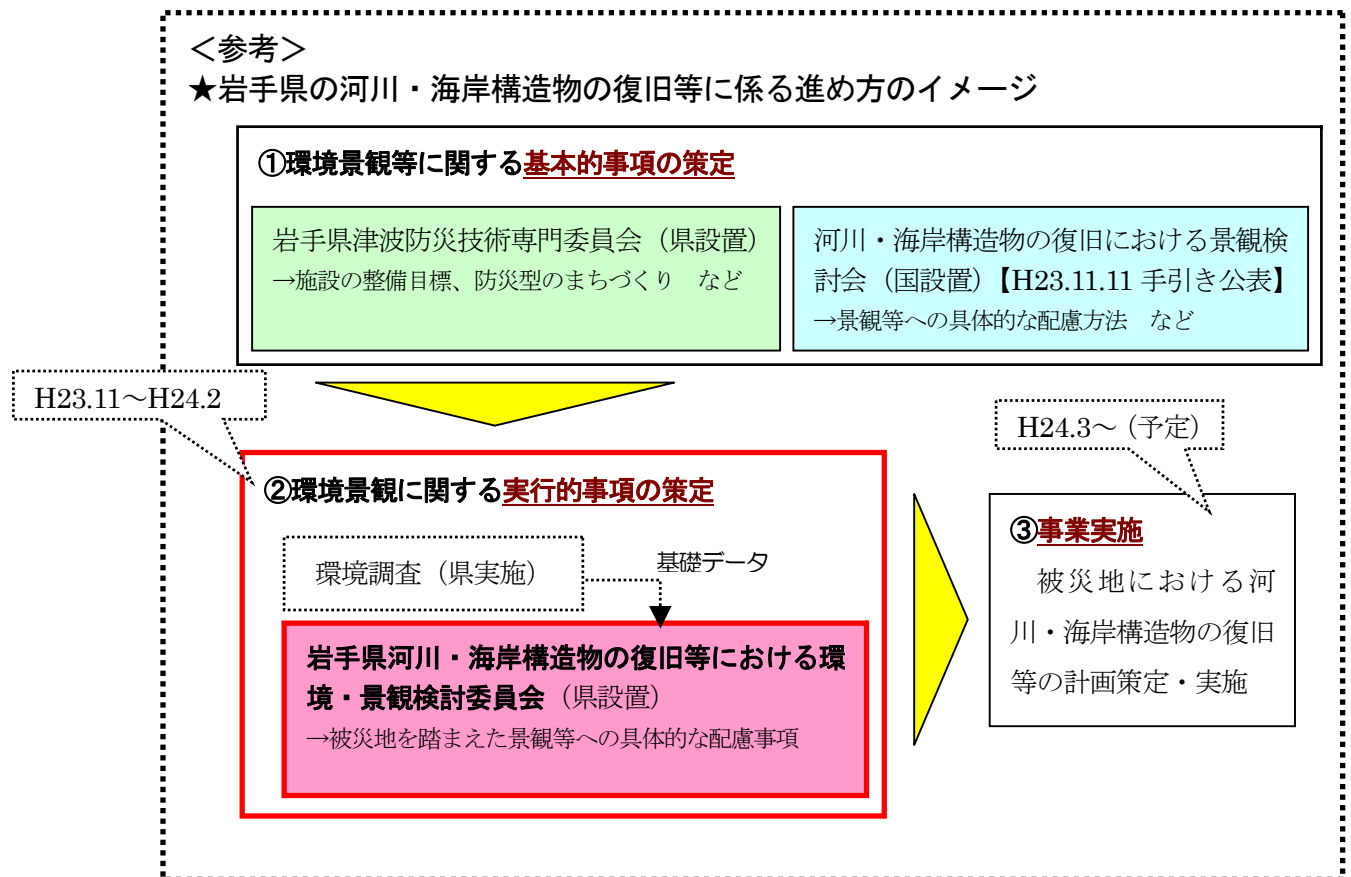
3 今後の検討スケジュール（予定）

現在、災害査定を行っている河川・海岸構造物の計画に反映させる必要があることから、概ね年度内に環境・景観に係る配慮事項等を取りまとめる必要がある。

委員会	開催時期	場所	検討内容等
第1回委員会 【本日】	平成23年11月17日(木) 13:30~15:30	岩手県公会堂 2階 26号室	今後の進め方（モデル地区の設定、スケジュール等）、論点整理等
現地調査会	平成23年12月16日(金) 9:00~17:00	岩手県沿岸	現況把握等
第2回委員会	平成23年12月19日(月) 13:30~16:00	ホテルルイズ 3階 万葉の間	現地調査結果の整理、今後の調査方針、配慮事項の整理等
第3回委員会	平成24年1月27日(金) 13:30~16:00	ホテルルイズ 3階 万葉の間	配慮事項の検討・整理、とりまとめ等
第4回委員会	平成24年2月23日(木) 9:30~12:00	エスポワールいわて 2階 大ホール	県版の環境・景観への配慮事項（案）の検討等
委員会(予備日)	平成24年3月9日(金) 13:30~16:00	エスポワールいわて 2階 大ホール	予備日

<参考>

★岩手県の河川・海岸構造物の復旧等に係る進め方のイメージ



## モデル地区(案)位置図

	対象	海岸、河川等の名称(自治体名)
①	砂浜海岸	高田海岸、気仙川(陸前高田市)
②	港湾海岸	大船渡港、盛川(大船渡市)
③	複数河川河口部	大槌川、小槌川(大槌町)
④	観光地周辺	鍬ヶ崎、閉伊川(宮古市)



①砂浜海岸：高田海岸、気仙川(陸前高田市)

②港湾海岸：大船渡港、盛川(大船渡市)

③複数河川河口部：  
大槌川、小槌川(大槌町)

④観光地周辺：  
鍬ヶ崎、閉伊川(宮古市)